

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員 西野さち子です



国民のくらし直撃 生活保護切り下げを許すな!!



伏見生健会のみなさん、倉林明子参院予定候補と街頭から訴える西野さち子市議(右端)

北風の吹きすさぶ中、伏見生活と健康を守る会の皆さん、倉林明子参議院京都選挙区予定候補と、西野さち子市議は東大手筋で訴えました。

安倍政権は生活保護の基準を3年間で約7・3%の引き下げを打ち出しています。子どもさんのおられる世帯では10%の引き下げになります。母子加算は住民の皆さんの運動と、子どもの貧困が大問題になり復活しました。それなのに今回また保護費の削減で子どもさんの貧困が広がりがねません。

保護基準の引き下げは、保護世帯だけの問題ではありません。住民税非課税や就学援助の基準、最低賃金の引き下げなど国民生活のセーフティネットを直撃します。反対の声を大きくしましょう。

力あわせて

国民の生活第一。いのち、くらしを守る政治を一緒に

日本共産党

11月議会の報告会を開催しました



市議会ごとに開催している報告会。11月議会の報告会を2カ所で開催しました。

栗陵校区は1月27日にダイゴロー会議室で開催。寒い日でしたが会場いっぱいの参加者で、椅子が足りなくなりました。

西野市議の議会報告の後、参加者からの質問や意見をお聞きしました。「醍醐市営住宅の元管理事務所の利用」「交番所がほしい」「醍醐の山の幽霊峠に通じる登山道の出入り口が開発で途切れてしまったときに、西野市議に相談し、開発業者に改善してもらった」等、さまざまなくらしの声が出されました。

2月3日に開かれた醍醐中学校区の報告会は、焼却灰溶融炉の問題や東部クリーンセンターの跡地利用問題、東南海地震が起こった時の対策、水道料金の値上げ問題、旧奈良街道のバリアフリーなど、予定の時間を大幅に超えてもまだ終わることができない程意見が出されました。日本共産党の議員の役割がますます重要になってきています。



市政報告

上下水道料金の値上げは許せない!

京都市は2月議会に上下水道料金の値上げを提案する予定です。10月から平均で3・7%の値上げです。実施されると年間18億円の負担増になります。上水は5年、下水は2年連続の黒字です。上下水道会計がひっばくしているというのは値上げの理由にはなりません。老朽化した水道管の取り換えに1500億円かかるといいますが、国の補助制度の改善が必要ですよ。

2月議会が始まります

2月20日～3月22日の会期で2月議会が開かれます。代表質問は2月26日と27日です。

2月議会は来年度の予算を審議する議会です。ぜひ傍聴においで下さい。また、日本共産党市会議員団は予算案に対する要求懇談会を2月15日夜7時から、かもがわ会館で開きます。ぜひご参加いただいで、ご意見をお聞かせ下さい。

市民生活は今でも厳しい中、安易に市民負担の押し付けをすべきではありません。日本共産党は、公聴会を開くなど市民に意見を聞くべきだと提案をしています。

